

まちの話 だい

色入だい

3月19日 | 青空の下感じる本の魅力

島田市博物館分館の日本家屋で、本を楽しむイベント「本とマルマル」が開かれました。

3回目となるこのイベントは、本のある豊かな生活を提案しようと、本とマルマル実行委員会が企画。来場者は、縁側で読書をしたり、読み終わった本を交換したりして、本を通じた触れ合いを楽しみました。会場では、マルシェやライブなども行われ、多くの家族連れなどでにぎわいました。



3月26日 | 春の川根路を笑顔で快走

第36回「川根桜まつり走ろう会」が、川根町家山で開催され、約400人が参加しました。

この大会は、毎年「かわね桜まつり」に合わせて開かれ、川根文化センターを発着点とする家山川沿いや野守の池など川根地区の名所を巡ります。参加者は、3・5・10kmとファミリーの部に分かれてゴールを目指し、沿道の声援を受けて、力強い走りでコースを駆け抜けました。

3月20日 | 待ちに待った太公望たち

伊久美地区のヤマメ釣り堀施設「やまめ平」で、恒例のオープン釣り大会が開催され、市内外から参加した多くの家族連れなどでにぎわいました。

シーズン初日、放流されたヤマメは約3,000匹。オープン前から池の周りに陣取った約130人は、開始の花火が上がるとともに、釣り堀へ一斉に釣り糸を垂らしました。どの竿も大きくしなり、釣り人は期待以上の釣果に興奮した様子でした。

